

大会要項

1 主 題 「社会を生き抜く力を身に付け、

未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」

2 趣 旨

グローバル化の進展などにより世界全体が急速に変化する中であって、産業の空洞化や生産人口の減少など深刻な課題を抱える我が国は、極めて危機的な状況にあり、社会を構成する全ての者が、当事者として危機感を共有し、自ら課題探求に取り組むなど、それぞれの現場で行動することが求められています。また、核開発やミサイル発射にみられるような国際情勢の不安定さや世界各地でみられる紛争やテロなど、平和について今まで以上にしっかりと考えていかなければならない社会にもなってきています。

厳しい社会情勢の中、中学校教育の現状を見ると、確かな学力の向上、SNSによる誹謗・中傷などのいじめの問題、子どもの貧困問題、子どもたちの自己肯定感の低下など、社会の情勢が子どもたちの生活に直接影響している課題が山積しています。このような課題を解消していくためにも学校は、家庭地域との連携を一層強化し、学習や生活の基盤づくり、規範意識の醸成、体力の向上など、健やかな心身の育成を図っていかなくてはなりません。

平成29年3月に公示された新学習指導要領の総則に「学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、生徒に生きる力を育むことを目指すものとする。」と示されています。「生きる力」は、生涯にわたる学習の基盤となり、あらゆる人々に共通して求められるものとして、その理念は継承され、基礎的・基本的な知識・技能の習得や活用のために必要な思考力・判断力・表現力等の育成、豊かな心や健やかな身体の育成等、各学校における具体的な実践とその成果が期待されています。

これまで私たちは、生徒の「生きる力」の育成を目指し、地域・保護者に開かれた学校づくりを進めてきました。今後も実社会との関わりを一層重視し、個人の自立と様々な人々との協働に向けた力や困難に直面しても諦めることなく行動する力など、「社会を生き抜く力」を育成することが必要となってきました。また、確かな学力の向上と定着に向け、これまで校長のリーダーシップのもと「わかる授業」「個に応じた指導」など授業改善への取組を続け、一定の成果を得ることができました。今後学力向上を一層図っていくためには、生徒が「主体的・対話的で深い学び」を毎時間の授業で実感できるよう、積極的に授業改善に取り組んでいくことが必要です。

三重県小中学校長会中学校部会は、全日本中学校長会研究協議会の主題のもと、校長相互の資質向上と学校経営の一層の充実を目指して歩んできました。

本大会では、これまでの豊かな経験をもとにした実践提案を受け、互いの学校経営理念や教育理念に基づきながら議論を深め、時には責任ある立場での苦労や悩みも交流し合いながら、成果と今後の課題を整理し、これからの三重県中学校教育の充実と発展に生かしていきたいと願っています。

- 3 主 催 三重県小中学校長会 中学校部会
- 4 期 日 平成 30 年 8 月 23 日 (木)
- 5 会 場 全体会：男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール
分科会：三重県総合文化センター内各会場
- 6 日 程 9:30 ～ 9:50 受 付
10:00 ～ 12:00 全 体 会
開会行事 10:00 ～ 10:20
会場設営 10:20 ～ 10:30
記念講演 10:30 ～ 11:50
諸 連 絡 11:50 ～ 12:00
12:00 ～ 13:00 昼食休憩
13:00 ～ 16:00 分 科 会・討議のまとめ

7 記 念 講 演

演 題：「ヒトの脳の進化から考える教育のありかた」

講 師：三重県総合博物館 館長 大野 照文 様

8 分科会提案・司会・記録・運営委員一覧

| | 提 案 | 司 会 | 記 録 | 運 営 |
|---|--|--|-----------------------|---------------------|
| 1 | 西山 尚吾 (名張市・南中) | 西村 勉 (名張市・赤目中) | 寺嶋 哲司 (名張市・北中) | 和南 義一 (名張市・名張中) |
| 2 | 山本 成之 (津市・朝陽中) | 山本 潔 (津市・一志中) | 杉野 充孝 (津市・芸濃中) | 横山 徳浩 (津市・一身田中) |
| 3 | 丸一 克也 (大台町・宮川中) | 藤原 一成 (大台町・大台中) | 大西 伸 (多気町・多気中) | 小林 弘明 (多気町・勢和中) |
| 4 | 畑中 丈生 (尾鷲市・輪内中) 青木 俊幸 (松阪市・久保中) | 中野 拓也 (尾鷲市・尾鷲中) 山下 隆久 (松阪市・飯南中) | 松島 功城 (紀北町・三船中) | 吉田由紀夫 (紀北町・紀北中) |
| 5 | 下村 俊之 (志摩市・志摩中) | 舟戸 宏一 (志摩市・磯部中) | 厚見 和人 (志摩市・浜島中) | 石野 國昭 (志摩市・大王中) |
| 6 | 竹原 巧 (紀宝町・矢渕中) | 高田 有治 (熊野市・五郷中) | 竹本 和拡 (御浜町・尾呂志学園中) | 山崎 弘行 (熊野市・神上中) |
| 7 | 白木 俊行 (木曾岬町・木曾岬中) | 土屋 晃 (桑名市・長島中) | 片山 哲哉 (桑名市・光陵中) | 野呂はるみ (桑名市・光風中) |
| 8 | 南部 朗 (鈴鹿市・大木中) | 森本 雅夫 (鈴鹿市・天栄中) | 堀之内宏行 (鈴鹿市・千代崎中) | 後藤 敏博 (鈴鹿市・鼓ヶ浦中) |

9 分科会研究題および研究の視点等

| 分科会 | 研究題および研究の視点 | 提案担当 | 会場 |
|-----|--|-----------------|------------------------|
| 1 | <p>◇ 社会に開かれた教育課程の編成・実施</p> <p>① 各教科等のつながりを意識し、「何ができるようになるか」を中心とした教育課程の編成・実施</p> <p>② 主権者として求められる力の育成を見据えた18歳までの学びの連携・接続を図る教育課程の編成・実施</p> <p>③ 地域等の外部の人的・物的資源の有効活用や社会教育との連携等による社会と共有・連携した教育課程の編成・実施</p> | 名張市 | 文化会館2F 大会議室 |
| 2 | <p>◇ 「主体的・対話的で深い学び」の実現</p> <p>① 生きて働く「知識・技能」の習得と「見方・考え方」を深める教科指導の改善</p> <p>② 全ての学習の基盤となる言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力の向上</p> <p>③ 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による学習評価の開発</p> | 津市 | 文化会館2F 中会議室 |
| 3 | <p>◇ よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実</p> <p>① 人間としての在り方や生き方を求める道徳科の充実</p> <p>② 規範意識や社会性、生命の尊重など豊かな人間性を育み、道徳性を高める道徳教育の推進</p> <p>③ 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実</p> | 多気郡 | 文化会館2F 小会議室 |
| 4 | <p>◇ 体力の向上と生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を育てる教育の充実</p> <p>① 体力の向上や心身の健康の維持増進を図る運動やスポーツの充実</p> <p>② 学校保健、学校給食、食育の充実等、現代的な健康課題への対応</p> <p>③ 安全に関する指導の充実</p> <p>◇ 人権・同和教育の推進</p> <p>① 人権・同和教育の推進</p> | 尾鷲市・北牟婁郡 松阪市 | 男女共同参画センター2F セミナー室A |
| 5 | <p>◇ 未来を切り拓くためのキャリア教育の視点に立った進路指導の充実</p> <p>① 教育活動全体を通じた体系的・系統的なキャリア教育の視点に立った進路指導の充実</p> <p>② ガイダンスの機能を生かした進路指導の充実</p> <p>③ 社会的・職業的自立のために必要な能力（基礎的・汎用的能力）を育成するキャリア教育の充実</p> | 志摩市 | 男女共同参画センター2F セミナー室B |
| 6 | <p>◇ 自他の生命を尊重し自己有用感を育む生徒指導の充実</p> <p>① よりよい人間関係を築き、生徒一人一人の自己有用感を育む集団活動や部活動等の在り方</p> <p>② 不登校やいじめ問題、自殺（自傷行為）等への対応の在り方</p> <p>③ 家庭や地域社会及び関係機関、専門家等との連携・協力を密にした生徒指導の推進</p> | 熊野市 南牟婁郡 | 生涯学習センター2F 小研修室 |
| 7 | <p>◇ 多様化・複雑化した学校教育課題に対応できる教員の育成</p> <p>① 信頼に応えられる教員の育成と研修の在り方</p> <p>② 教科・領域の専門性と指導力を高める人材育成と研修の在り方</p> <p>③ 学校経営に携われる教員の育成</p> | 桑名市 桑名郡 | 生涯学習センター4F 小研修室1 |
| 8 | <p>◇ 地域との連携・協働による「チーム学校の創生」</p> <p>① 教職員の専門性を高め、組織力を高める学校経営の在り方</p> <p>② 外部人材とのより効果的な協働体制の構築</p> <p>③ チームとしての学校と地域の連携体制構築の在り方</p> | 鈴鹿市 | 生涯学習センター4F 小研修室2 |